

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

三月二十一日(月) 午後二時より
春季彼岸会



今号の法語

言葉にならない
世界のほかに
世界がある

今号の内容

- ・今年から伝灯奉告法要が勤まります
- ・蓮門会が「和讃」をテーマにスタート!
- ・仏事のQ&A く仏華についてく
- ・四月二十三日は仏教婦人の集い

「爆買い」・「自撮り」・「壁ドン」・「終活」・「じわる」……。

人間が遠い昔に手にした「言葉」という伝達手段は、今もなお新たな「言葉」を生み出しながら発展し続けています。

うつりかわる時代感覚に反映されるように、言葉もその姿を変えつつ新たなニュアンスを含んだ新語が毎年のように生み出されています。

このように言葉で表せる世界がある一方で、言葉にならない世界もあるようです。

「言語道断」という言葉があります。元は仏教語で「仏教の奥深い真理は言葉で説明しきれない(言語の道が断たれる)こと」を意味していました。

言葉は確かに素晴らしいものですが、言葉だけで全てが伝わるわけではありません。何でも言葉にしてしまうのではなく、言葉にならない世界もまた大切にしていきたいものです。

伝灯奉告法要が

今年十月より勤まります

去る平成二十六年六月六日 要となります。

に本願寺派第二十五代門主 広濟寺の所属する五位組で
となられた大谷光淳(専如上 も大人数での参拝を予定して
人)ご門主の伝灯奉告法要が おります。決定次第お知らせ
いよいよ本年十月より勤めら します。是非ご参加お願い
れます。 いたします!

期間は今年十月から来年五

月まで。その間に全十期八十
日八十座勤まる予定です。

親鸞聖人以来、二十五代を
数える本願寺門主の歴史です
が、今まさに一つの大きな節
目を迎えることになりました。

父である大谷光真(即如上
人)前門主は三十五年以上
にわたって門主を務めてこら
れました。これからは専如ご
門主のもと、私たちの本願寺
教団が新たな歩み始める最
初の大きな法要が今回のご法



光淳現門主(左)と光真前門(右)

蓮門会が「和讃」を

テーマにスタートします

昨年は「正信偈」をテーマに 日頃意味が分からずとなえ
開かれた蓮門会ですが、今年 ていた和讃も、学べば新たな気
のテーマは「和讃」に決まりま づきが生まれることでしょう。
した。 ご参加お待ちしております!

「和讃って何?」と思われる
方も多いかもしれませんが、
正信偈六首引で使われている
あの和讃です。正信偈が終
わった後、念仏の合間にとな
えているのが和讃とよばれる
ものなのです。

今年度の蓮門会では、私た
ちが一番身近であろう「弥陀
成仏のこのかたは・・・」から
の六首の意味を全六回にわたっ
て学んでいきます。

ご講師には岡西法英先生を
お迎えし、五位組各寺が会場
となります。会費は全六回で
五千円です。



仏事の疑問 Q & A

質問 なぜ仏壇にお花を

お供えするのですか？

お花に一番気を遣うというどちら側にも仏華の正面を向け声をよく聞きます。いつの間にお供えしてありますか？私側か枯れていた・・・というのは私ですよね。

だけでは不十分でしょう(笑)

そもそも仏華とは何のためにお供えするものなのでしょう？今回はお花が意味することについてお答えさせていただきます。

お仏壇にお供えしている仏華ですが、仏さま側と私(仏さま)側、私(仏さま)側と私(仏さま)側、というよりも、仏さまが「この私のため」にあらわしてくださった世界だったのです。



『阿弥陀経』には、お浄土の世界は様々な花がそれぞれ光をもつて照らし合い咲き輝いていることが説かれています。私たちがお仏壇にお供えする

仏華とは、仏さまのおられるお浄土の世界を表現しているものだったんですね。また仏華をお供えするのは、この世が無常であることを私に知らせるためともいわれています。お供えするために切ったお花は、切った瞬間に枯れる定めとなります。ただ少しの水に養われて美しく咲き長らえてはいますが、枯れる定めに変わりはありません。私たちがもまた、切ったお花と同じです。

この世に生まれた瞬間に、どんなに健康であったとしても死ぬ定めからは逃れられませんが、無常のなかで生きていくことを知って、仏さまの教えに向き合っていくと、お供えの教えが仏華にはありました。

このように、お仏壇のお莊嚴(お飾り)には私たちに向けての様々な意味がありました。疑問に思ったことなどありましたら、ぜひ気軽に質問してみてください！



本願寺で用いている仏華の一つ

昨年の様子



四月二十三日(土)は

広濟寺仏教婦人の集い

四月二十三日(土)午前十時半より、広濟寺仏教婦人の集いを開催します。毎年午前の部は楽しいイベントを企画しています。今年「笑いヨガ」ということで、「笑いの体操」として今世界中で人気だそうです。年齢に関わらず楽しめるという事で、私も今からワクワクしています。

お昼ごはんをいただいた後は、ゆっくりと仏さまのお話を聞かせていただく予定です。会費は一三〇〇円(昼食込み)。ご参加お待ちしております!

お知らせ

二〇一六年

春季彼岸会会

三月二十一日(月)

午後二時より

法話 当寺 若院

蓮門会

四月三日(日)

午後四時より

場所 麻生谷 西光寺

広濟寺仏教婦人の集い

四月二十三日(土)

午前十一時より

会費 一三〇〇円

(昼食込み)

御講師

新湊組 妙蓮寺

増山 孝琢 師

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※四月は休会します



編集後記

月参りにまわらせていただいていると、あることを発見しました。お仏壇に置いてあるおりんの下に見覚えのあるものがひいてあったのです。

それは、昨年若院結婚披露祝賀会の際にお配りした、前坊守が編んだ「エコたわし」でした。左の写真のように使っていたのを見て、十軒近くのお宅で見つけました。

思わぬところで大事に使っていただいていることに驚きながらも、実は結構いい感じなのではないかと新たな発見になりました(笑)

